

イラストレーターの味戸ケイコさんが 絵（原画）と絵本を遺愛に寄贈して 下さいました！！

味戸ケイコさんは北海道函館市ご出身。遺愛女子高等学校（K14 回昭和 37 年卒）を経て、多摩美術大学 デザイン科を卒業しました。1971 年『月刊エレクトーン』（ヤマハミュージックメディア）創刊号から 1 年間の表紙イラストの発注を受け、本格的にデビューします。この表紙画がイラスト年鑑に掲載され、1973 年に年鑑を見た「やなせたかし」、「原田奈翁雄」からそれぞれ雑誌『詩とメルヘン』（サンリオ）、雑誌『終末から』（筑摩書房）の表紙画の依頼が舞い込み、以後、各方面で活躍しています。新聞連載の挿絵や、ミュージシャン（中島みゆき、さだまさし）とのコラボレーションもしています。K美術館（静岡県三島市）では、作品の常設展示がされています。このたび、遺愛学院創基 150 周年に際して、今まで描かれた絵（原画）および画集、絵本などを寄贈して下さいました。絵本については、図書館で見たり、借りることができます。

また、10月1日(火)～12月8日(日)北海道立函館美術館の常設展示室で『少女たちの夢 味戸ケイコ展』が開催されます。

★主な作品

画集

『かなしいひかり』（講談社）、『夕風色に』（講談社）、『白い少女』（サンリオ）、『夢少女』（サンリオ）

絵本

『あのこがみえる』（舟崎克彦、偕成社） 『白樺のテーブル』（安房直子、偕成社）
『時代』（中島みゆき、サンマーク出版） 『ひかりのオルガン』（味戸ケイコ、白泉社）

アルバムジャケット

『風見鶏』（さだまさし）、『私花集』（さだまさし）
『心のうちがわかればいいのに』（佐々木好）、『にんじん』（佐々木好）

受賞歴

第 1 回サンリオ美術賞、
ボローニャ国際児童図書展グラフィック賞推薦 - 『あのこがみえる』（舟崎克彦）
第 8 回赤い鳥さし絵賞 - 『花豆の煮えるまで』（安房直子）



2024 年 9 月 10 日